



## ① 山郷小学校

明治16年、校舎2階を新築して「楚里学校」を開校した。明治41年(1908)「山郷尋常高等小学校」、昭和16年(1941)「山郷村国民学校」と校名を改称し、昭和22年「山郷村立山郷小学校」となった。

## ② 大辻神社

寛政5年(1792)大辻新田が開墾され、鼓村の波羅神社から分霊した素戔鳴尊を祀れ神社とした。大辻神社の夏祭に神饌として必ず供えられたものが、大辻畑で収穫した小麦で作った「うどん」です。現在も7月第2日曜日に「うどんまつり」が行われている。

## ③ 梶清左衛門碑と神戸屋嘉助碑

右側は、平野新田の開発に尽力した梶清左衛門の墓碑です。悟入谷から水を引いて灌漑用水にするなど難工事の末、御殿溜を完成、平野新田を開き初代の庄屋に任命されました。

左側の「神戸屋嘉助」は博徒穴太徳の子分で、慶応2年(1866)19歳で荒神山の決闘に参加、手傷を負うことなく退却し、のち穴太徳の跡目を継いだ。

## ④ 落条溜

梶清左衛門の指揮の下、平野新田のさらに南に向かって原野を開拓して造成した畑地を田にするため、天保12年(1841)御殿溜を改修して拡張し、弘化3年(1846)新溜を築き、嘉永2年(1849)大辻新田と水を折半して灌漑する落条溜を築き建てるなど溜池の築造を行う。

## ⑤ 茶屋跡・馬冷池

茶屋跡の平野神社の南、伊勢湾を見渡すことのできる小高い丘陵の頂上に「桑名領主松平越中守定綱公旧跡、後年口山建築物賜施当所開発人加治清左衛門家」と刻んだ自然石の碑が建っている。

馬冷池を地元の人「うまあらいけ」と呼んでおり、開発を命じた松平定綱は寛永16年(1639)元屋敷の東の高台に別荘を建設して、以来桑名の城から馬に乗ってたびたびこの別荘を訪れ、この池では定綱一行の乗馬を洗った水場と伝えられている。

## ⑥ 平野神社

主祭神は生前この地を愛した5代桑名藩主の松平定綱。慶安4年(1641)定綱が他界し、後を継いだ子定良は、父がこの地に造営した別荘の中にその霊を祀り参詣した。当時、定綱を平野新田開拓の祖と崇敬していた村民は、これを氏神として鎮守の宮とすることを領主に願い出て許され、御霊大明神と尊称して奉斎したのが当社の創始。

境内入り口の大杉は「燈明杉」と呼ばれている。

当地の人たちは桑名鎮国守国神社を崇敬し、現在も5月12・13日の例祭には区長や代参者が参拝していて、例年、2番目に玉串を奉奠しています。

## ⑦ 光耀山教昌寺

光耀山教昌寺は浄土真宗本願寺派、本尊は阿弥陀如来。天正2年(1574)織田信長の長島侵攻を逃れた津坂氏は、鼓の庄屋の庇護を受けて草庵を建てた。津坂氏逝去の後、庄屋の三野右衛門は京都興正寺において得度して法名釈教昌を受け、津坂氏の後継の看坊となる。天保11年(1840)真宗興正寺派から本願寺派に転派。

表面に「慶長十二(1607)丁未十一月鑄之」とある本堂軒下に吊された高さ約40センチの喚鐘は、桑名の広瀬九郎兵衛によって造立されたもの。

## ⑧ 波羅神社

祭神は素戔鳴尊・大山津見神・日本武尊の三柱、明治42年(1909)地区の山神社と八剣社を合祀しており、古くは牛頭天王神社と呼ばれていた。勧請年月は不明ながら、神前の狛犬に応永32(1425)とあり、また、明和3年(1766)「奉造立八剣大明神」、寛政元年(1789)「奉造立牛頭天王神社」の棟札などが残され、創建は古いものと思われる。

## ⑨ 貝野神社

祭神は豊受大神、素戔鳴尊、応神天皇、稻倉魂命、大山祇命、火産霊命。

秋の大祭、10月10日に行われる「おみおく練り」は、神前に供えられ蒸した餅米と大豆を祭に参加する若者が練り固めた「おみおく」を詰めた俵を、裸で下帯、白足袋姿で赤と青のハチマキを締めた2組の青年達が担ぎ出して境内を練り歩き、参詣者が俵の中の「おみおく」を取り出そうともみ合う祭り。これを食べると1年中無病息災、夏病みもしないといわれている。

## ⑩ 天皇山勝泉寺

天皇山勝泉寺は真宗大谷派、本尊は阿弥陀如来。天平年中(729～748)行基により東貝野に創建され、天野寺と称したと伝え、寛和年間(985～987)花山天皇の勅願により伊勢5ヶ寺の一つとして西貝野に移転建立。文明11年(1479)蓮如上人の回国の際天台宗から浄土真宗に改宗。天正8年(1580)織田信長の兵火に遭って焼失。天正13年(1585)新しい境内を現在の岡山坂に求めて諸堂を建立、天皇山勝泉寺と改称しました。

境内のしだれ桜は天保14年(1843)本堂の再建を祝って植樹されたもの。